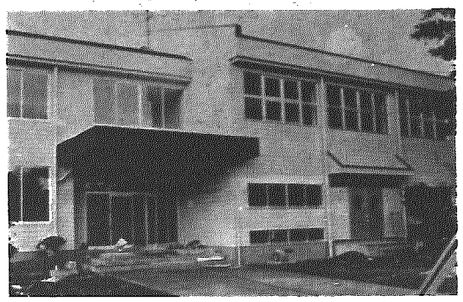
小杉地区コミュニティセンター

4月1日に待望の開館



地域づくりの推進に期待されるコミュニティセンター

小杉に建設されていた小杉地区コミュニティセンターが完成し、四月一日に開館することとなりました。

このコミュニティセンターは、昨年十月から総工費六、〇〇〇万円が投資されて竣工したもので、鉄骨一部二階建て延床面積三八八平方㍍（一階二七六平方㍍、二階一一二平方㍍）。外観は屋根部分が濃い茶色、ほかはアイボリー一色という明るく清楚な感じの建物となっています。

内部は、室内スポーツから集会までできる多目的ホール（一五二平方㍍）や料理実習室のほか、和室、会議室などがあり、りっぱな施設となりました。

これからの地区住民活動の中心施設として、総合的な地域づくりの推進に役立つことと期待されています。

なお、利用申し込みについては、申請書をコミュニティセンターに提出し許可を受けることとなっています。

宇野兵衛氏 固定資産評価審査委員に再任

三月三十一日をもって、任期満了する固定資産評価審査委員の宇野兵衛氏の再任が、三月十二日の三月定例議会で、満場一致で、同意されました。

宇野氏は三期目で、木津在住の六十五歳。

港水防除業事

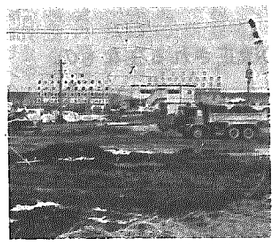
蔵岡・本所に排水機場

横越排水路流域が受益

亀田郷横越排水路流域の農地や集落の湛水を排除する、県営亀田郷地区湛水防除事業の地鎮祭が三月八日に、新潟市本所の排水機建設予定地で、行われました。

これまでは、横越排水路流域地内の排水は、最終的には栗ノ木川に流入し、さらに鳥屋野潟から親松排水機場を経て信濃川へ機械排水されていたのが、最近は都市化が進み、豪雨時には湛水被害が常襲になりつつあったところです。

この事業は、新潟県が事業主体となり横越村、亀田町、新潟市が受益として参加し、総額百二十六億円を投入して事業を進め、概ね十年計画で新潟市蔵岡と本所の二か所に排水機場を建設し、それに接続する十路線の排水路を整備する計画とされ、その受益面積は約二千五百㌶となっています。



本所排水機場工事現場

蔵岡排水機場は、口径一一・五㍍のポンプ三台で毎秒十二・八㌧の水を、その下流の本所排水機場は、口径一一・八㍍のポンプ三台で毎秒十六・二㌧の水をそれぞれ阿賀野川へ直接排水する計画となっており、この事業の負担は、国が六十㌫、県が三十㌫を持ち、三市町村で十㌫を分担することとなっています。

「この二か所のポンプ場が完成すれば、梅雨時などの洪水期の湛水が排除され、田や宅地の湛水の心配がなくなる。」と藤山・駒込・小杉などの集落から期待されています。

この日の起工式には、副知事、横越村長、亀田町長、新潟市長、亀田土地改良区理事長ら約五十人が出席して、鍬入れなどの神事を行い、工事の安全を祈願しました。

食事こそ家族のきずな

⑦

女子栄養大学教授
食生態学　足立己幸

"体の目覚まし時計"

朝食をないがしろにする風潮が強まっているようです。朝早く起きるのがつらいから――。ダイエットしてるから――こういった理由で朝食を抜く人が、若者に限らず年配の方や小学生・中学生の間にまで広がってきているのです。

そこで、朝食を軽んじているこのような人たちには、「朝食は体の目覚まし時計」という発想をぜひ持ってほしいと思うのです。

食べなければ胃や腸は目覚めない

食べる、という行動を思い浮かべてください。手を使って食べ物を口まで運ぶ。次に、口を大きく開けて何度も何度もかむ――。この時、顔面の筋肉である咬筋の収縮運動は、大脳皮質の働きに刺激を与えます。

さらに、大脳皮質にかかわっているさまざまな感覚器官にも刺激が伝わり、体のすみずみまで"目覚まし時計"が鳴り響くことになるのです。

それならば、体操でもして頭や体をシャキッとさせればいいのでは、と考える方もいるかもしれません。しかし、いくら体や脳が目覚めたとしても、朝食をとらなければ胃や腸の消化器官は眠ったままの状態から抜け出したことにはなりません。

やはり朝は、朝食をキチンと食べてから行動する――そうすれば午前中に間食することもないので昼食がおいしく食べられ、さらに夕食へ、とそのリズムはつながっていくのです。

家族そろって朝食を

食事は家族そろって食べることが理想です。特に夕食であれば、時間的にも気分的にもゆとりがあるので、自然と会話もはずむもの。しかし、仕事や用事などの都合で、なかなか一緒に食べるというわけにはいかないこともあります。

その点、朝食は、みんなの心がけ一つで、家族そろって食べることができるはずです。これから始まる一日を、家族がそろってスタートを切る――その意味では、朝食は"暮らしの目覚まし時計"ととらえることもできるでしょう。

朝食のとり方で変わる生活のリズムや健康状態

わたしたちは、食べるという行動を一年間に千回以上も繰り返して生きています。その三分の一にあたる三百六十五回の朝食を大切にするかどうか――長い間には、それが生活のリズムや健康状態に大きく作用することを知ってほしいと思います。

飲みすぎ、食べすぎなど、たとえ前の日がどうであっても、今日は朝食から一日が始まる――そんな毎日を心がけていただきたいのです。

春の全国交通安全運動

こどもを交通事故から守りましょう

4月6日～15日

四月六日から十日間、全国いっせいに「春の交通安全運動」が行われます。

〈運動の重点〉

一、シートベルト・ヘルメット着用の徹底

二、新入学（園）児を中心とした子供の交通事故防止

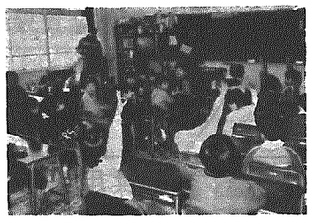
三、二輪車の無謀運転の追放

四、高齢者の事故防止

新入学や新入園を心待ちにしていたこどもたちが胸を弾ませて学校、保育園、街へと出ていきます。

新しい交通環境に入ったこどもたちを交通事故から守ってやりましょう。

ドライバーはシートベルト及びヘルメットの着用を実践しましょう。



元気に！日入学……交通安全を

4月13日は、村内一斉空かん回収日

各地域ごとに実施されますので、ご協力をお願いします。

狂犬病予防注射を受けましょう

5月2日

狂犬病予防法により生後九十一日以上の犬は毎年一回の登録と狂犬病予防注射を受けなければなりません。

狂犬病予防注射の日程は下表のとおりです。登録をしなかったり、予防注射をしないでいると罰金、または科料に処せられます。登録と予防注射を忘れないようご注意ください。

◎お願い

当日は、ハガキ・印鑑・愛犬手帳・手数料四、七〇〇円をご持参ください。また、会場が混雑しますので、犬を制御できる人が連れてきてください。（お年寄りや子どもさんはご遠慮ください。）

月　日	会　場	時　間
5月2日（金）	沢海稚蚕所前	9：30～10：00
	木津分館前	10：20～10：50
	川根谷内公会堂前	11：10～11：40
	小杉分館前	13：00～13：30
	横越公民館前	14：00～15：00

忘れたら大変

国民年金加入の届出

四月から実施される新しい年金制度では、日本国内に住む二十歳から六十歳未満の人は、必ず国民年金に加入することになりました。

農業や自営業等を営んでいる人、無職の人はもちろん、サラリーマンや家庭の主婦も今月から強制加入になります。

ただし、昼間部の学生は、希望したときから任意加入することができます。

特に、今まで任意加入だった厚生年金、船員保険、共済組合等に加入しているご主人に扶養されている奥さんは、国民年金加入の届出を忘れずに役場住民課年金係で手続きをしてください。

この届出を忘れると将来年金が受けられなくなりますので十分注意してください。

確定申告が間違っていたときは

昭和六十年分の所得税の確定申告期限は、三月十五日まででしたが、忘れて確定申告書を提出しなかったり、確定申告書を提出した後で、申告内容に間違いがあったときは、次の手続きなどで訂正をしてください。

〈税額を多く申告していたとき〉

申告した税金が多かったことに気付いたときは、正しい金額にするため、「更正の請求」をすることができます。

この更正の請求ができる期間は、昭和六十年分については六十二年三月十六日までです。

〈税額を少なく申告していたとき〉

正しい金額にするために「修正申告」をしてください。

この修正申告は、税務署から更正を受けるまでは、いつでもできますが、税務署の調査を受ける前に自主的に修正申告をしたときは、加算税はかかりませんので、早めに申告する方が有利です。

確定申告を忘れていたときはただちに確定申告書を提出してください。

この申告は「期限後申告」といって税務署から決定を受けるまでは、いつでもできますし、加算税も、税務署の調査を受ける前ですと五㌫で済みます。